

（１）概要 入学定員 100 名

法学既習者（１年次免除生）50 名、法学未修者（３年コース生）50 名

入学試験で振り分ける。ただし、併願は可能（法学既習者でも、３年コース希望が可能）

法学既習者については、法律試験を課す。科目は、公法（憲法・行政法）民事法（民法・商法・民事訴訟法）刑事法（刑法・刑事訴訟法）として、この法律試験合格によって、１年次免除の一括認定を行う（法律基本科目＋法情報調査 29 単位）

（２）上智法科大学院カリキュラムの概要

1 学年 100 名で 2 クラス編成 少人数教育で特徴を出しながら優秀な法曹を育てる。
特徴として、国際性、環境法 法学部での国際関係法学科、地球環境法学科を反映

・修了要件

3 年間に在学して 93 単位以上修得、1 年在学期間免除の場合（29 単位免除）64 単位以上修得

・法律基本科目の単位数と内訳

必修科目として法律基本科目 公法・民事法・刑事法

1 年次 必修 28 単位（公法 6 単位、民事法 16 単位、刑事法 6 単位）

2 年次 必修 26 単位（公法 4 単位、民事法 16 単位、刑事法 6 単位）

選択必修 公法総合演習 2 単位

3 年次 必修 4 単位（民事法総合 2 単位、刑事法総合 2 単位）

法律基本科目の内訳 公法 10 + 2 単位、民事法 34 単位、刑事法 14 単位

・展開・応用科目 b 群の展開・先端科目群

労働法 3 単位、租税法 2 単位・国際租税法 2 単位、経済法 2 単位、知的財産権法 3 単位、
倒産処理法 3 単位、民事執行・保全法 2 単位、国際取引法 2 単位、国際私法 2 単位

・実務基礎科目の概要

法情報調査 1 単位 1 年次必修

法曹倫理 2 単位 2 年次必修

訴訟実務基礎 民事・刑事 各 2 単位 3 年次必修

・上智法科大学院カリキュラムにおける独自性

国際性、環境法

1 年次 国際法基礎、環境法基礎、

2 年次 国際取引法総合演習、環境法実務演習、

3 年次 選択科目 c , d 群

国際 Law and Practice of International Business Transactions、リーガル・ライティング、模擬裁判（国際）エクスターンシップ で渉外事務所と提携

環境 環境法政策、環境訴訟、企業環境法、環境法の現代的課題（自然保護法・国際環境法・環境刑法）

（３）成績評価・修了認定の方法

成績評価委員会の設置、成績評価基準の明示によって、学生への透明性の確保

修了認定

- ・各年次で進級制をとる。各年次 24 単位以上修得できなければ進級できない。
- ・同一年次に 2 年を超えて留まることはできない。 退学要件として明示

上智大学法学研究科法曹養成専攻（法科大学院）カリキュラム

授業科目の名称	配当年次	単位数又は時間数		
		必修	選択	自由
[必修科目]				
憲法基礎	1	4		
行政法基礎	1	2		
民法基礎Ⅰ	1	4		
民法基礎Ⅱ	1	4		
商法基礎	1	4		
民事訴訟法基礎	1	4		
刑法基礎	1	4		
刑事訴訟法基礎	1	2		
法情報調査	1	1		
公法Ⅰ	2	2		
公法Ⅱ	2	2		
民法Ⅰ	2	4		
民法Ⅱ	2	4		
商法	2	4		
民事訴訟法Ⅰ	2	2		
民事訴訟法Ⅱ	2	2		
刑法	2	2		
刑事訴訟法	2	4		
法曹倫理	2	2		
民事法(総合)	3	2		
刑事法(総合)	3	2		
訴訟実務基礎(民事)	3	2		
訴訟実務基礎(刑事)	3	2		
[選択必修科目]				
(A群・実践演習科目)				
公法総合演習	2		2	
企業法務演習	2		2	
環境法実務演習	2		2	
国際取引法総合演習	2		2	

授業科目の名称	配当年次	単位数又は時間数		
		必修	選択	自由
(B 群・実務科目)				
紛争解決技法(ロイヤリング)	3		2	
ネゴシエーション	3		2	
模擬裁判 (民事)	3		2	
模擬裁判 (刑事)	3		2	
模擬裁判 (国際)	3		2	
法文書作成	3		2	
リーガルライティング	3		2	
リーガルクリニック	3		2	
エクスターンシップⅠ	3		2	
エクスターンシップⅡ	3		2	
[選択科目]				
(a 群・基礎科目群)				
国際法基礎	1・2・3		2	
環境法基礎	1・2・3		2	
比較法	1・2・3		2	
外国法	1・2・3		2	
法と経済学	1・2・3		2	
(b 群・展開・先端科目群)				
労働法Ⅰ	1・2・3		2	
労働法Ⅱ	1・2・3		1	
租税法	3		2	
経済法	3		2	
知的財産権法Ⅰ	1・2・3		2	
知的財産権法Ⅱ	1・2・3		1	
倒産処理法	1・2・3		3	
民事執行・保全法	1・2・3		2	
国際取引法	1・2・3		2	
国際私法	1・2・3		2	
英米私法	1・2・3		2	
企業取引法	3		2	

授業科目の名称	配当年次	単位数又は時間数		
		必修	選択	自由
(c 群・国際関係法)				
国際法の現代的課題	3		2	
国際取引法の現代的課題	3		2	
国際租税法	3		2	
国際民事紛争処理	3		2	
Law and Practice of International Business Transactions	3		2	
(d 群・環境法)				
環境法政策	3		2	
環境訴訟	3		2	
企業環境法	3		2	
比較環境法	3		2	
環境法の現代的課題	3		2	
(e 群・研究・論文)				
自主研究・論文作成	3		2	

法学研究科法曹養成専攻カリキュラム概念図及び修了単位

3年生課程生：必修65単位、選択必修6単位（A群から2単位、B群から4単位）、選択22単位（a、b群から12単位以上）
 2年生課程生：必修36単位、選択必修6単位（A群から2単位、B群から4単位）、選択22単位（a、b群から10単位以上）

必修科目

憲法基礎 4
 行政法基礎 2
 民法基礎Ⅰ 4
 民法基礎Ⅱ 4
 商法基礎 4
 民事訴訟法基礎 4
 刑法基礎 4
 刑事訴訟法基礎 2
 法情報調査 1

1 年 次

公法Ⅰ 2
 公法Ⅱ 2
 民法Ⅰ 4
 民法Ⅱ 4
 商法 4
 民事訴訟法Ⅰ 2
 民事訴訟法Ⅱ 2
 刑法 2
 刑事訴訟法 2
 法曹倫理 4
 2

2 年 次

民事法（総合） 2
 刑事法（総合） 2
 訴訟実務基礎（民事） 2
 訴訟実務基礎（刑事） 2

3 年 次

選択必修科目

A 群・実践演習科目
 公法総合演習 2
 企業法務演習 2
 環境法実務演習 2
 国際取引法総合演習 2

B 群・実務科目

紛争解決技法(ロイヤリング) 2
 ネゴシエーション 2
 模擬裁判(民事) 2
 模擬裁判(刑事) 2
 模擬裁判(国際) 2
 法文書作成 2
 リーガルライティング 2
 リーガルクリニック A,B 各 2
 エクスターニシップⅠ 2
 エクスターニシップⅡ 2

選択科目

a 群・基礎科目群

国際法基礎 2
 環境法基礎 2
 比較法 2
 外国法 2
 法と経済学 2

c 群・国際関係法

国際法の現代的課題 2
 国際取引法の現代的課題 2
 国際租税法 2
 国際民事紛争処理 2
 Law and Practice of International Business Transactions 2

b 群・展開・先端科目群

労働法Ⅰ 2
 労働法Ⅱ 1
 租税法 2
 経済法 2
 知的財産権法Ⅰ 2
 知的財産権法Ⅱ 1
 倒産処理法 3
 民事執行・保全法 2
 国際取引法 2
 国際私法 2
 英米私法 2
 企業取引法 2

d 群・環境法

環境法政策 2
 環境訴訟 2
 企業環境法 2
 比較環境法 2
 環境法の現代的課題 2

e 群・研究・論文

自主研究・論文作成 2

少人数教育

キリスト教ヒューマニズム